

教科	受験番号
家庭	

1 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編」「第1部 各学科に共通する教科『家庭』」に記載されている内容について、次の設問(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の各文は、「第1章 総説」の「第2節 家庭科改訂の趣旨及び要点」の「2 家庭科改訂の要点」のうち、科目編成や各科目の内容の改善に関する記述を一部抜粋したものである。適切でないものを次の①～⑤の中からすべて選べ。

- ①家庭科においては、生徒の多様な能力、適性、興味・関心等に応じて選択して履修させることを重視し、「家庭基礎」、「家庭総合」、「生活デザイン」の3科目のうちいずれか1科目を必修科目として履修することとしている。
- ②小・中・高等学校の系統性を踏まえ、「家庭基礎」、「家庭総合」とともに、内容構成を「家族・家庭及び福祉」、「衣食住」、「消費生活・環境」に「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」を加えた四つに整理した。
- ③いずれの科目においても、従前の「生涯の生活設計」をまとめとしてだけでなく、科目の導入として位置付けるとともに、AからCまでの内容と関連付けることで、生活課題に対応した意思決定の重要性についての理解や生涯を見通した生活設計の工夫ができるよう内容の充実を図った。
- ④少子化の進展に対応して、子どもの育つ環境づくりや子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割、子どもを産み育てることの意義や、子どもと適切にかかわりコミュニケーション能力を高めることなどに関する内容の充実を図った。
- ⑤消費生活・環境については、成年年齢の引下げを踏まえ、契約の重要性や消費者保護の仕組みに関する内容を充実するなど、消費者被害の未然防止に資する内容の充実を図った。

- (2) 次の各文は、「第2章 家庭科の各科目」の「第1節 家庭基礎」の「2 内容とその取扱い」のうち、「B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康」に関する記述を一部抜粋したものである。文中の(A)～(E)に適する語句の組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

B 衣食住の生活の自立と設計

(1) 食生活と健康

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) (A) に応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質, (B) に配慮した食生活について理解し, 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

(イ) (C) の構成要素や食品の調理上の性質, (D) について理解し, 目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。

イ 食の安全や食品の調理上の性質, (E) を考慮した献立作成や調理計画, (B) に配慮した食生活について考察し, 自己や家族の食事を工夫すること。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ライフステージ	食品の安全性	味覚	食品衛生	食文化の継承
②	ライフイベント	健康や環境	おいしさ	安全管理	食文化の発展
③	ライフデザイン	食品の安全性	味覚	衛生管理	食文化の継承
④	ライフイベント	安全や健康	おいしさ	安全管理	食文化の発展
⑤	ライフステージ	健康や環境	おいしさ	食品衛生	食文化の継承

- (3) 次の各文は、「第2章 家庭科の各科目」の「第4節 消費生活」の「2 内容」のうち、「(2) 消費者の権利と責任」に関する記述を一部抜粋したものである。文中の(A)～(J)に適する語句を語群ア～ネから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(2) 消費者の権利と責任

エ 消費者教育

消費者が生涯にわたって消費生活について学習できるよう、(A)から(B)までの各段階に応じて、学校、地域、家庭、(C)その他の様々な場を通じて、消費生活に関する教育を充実させることが重要であることを理解できるよう指導する。また、持続可能な社会の形成を目指し、適切な(D)を進めるためには、消費者自身が(E)の仕組みを正しく理解し、商品・サービスなどに関わる正確な知識、(F)に基づいて行動できるようにするとともに、法令を遵守し、消費者の(G)を守り、生活の質の向上に寄与する(H)の育成にもつながることについて考えることができるよう指導する。

また、消費者としての権利を実現し、適切に意思決定した上で(I)な消費行動がとれるようにするためには、多様な視点から物事を捉える能力を身に付けることが求められ、(J)の趣旨や運用を踏まえて、様々な機会を捉えた消費者教育が重要であることについて扱う。

- 【語群】
- |   |      |   |        |   |        |   |          |   |      |
|---|------|---|--------|---|--------|---|----------|---|------|
| ア | 児童期  | イ | 職場     | ウ | 青年期    | エ | 社会       | オ | 高齢期  |
| カ | 職域   | キ | 壮年期    | ク | 経済活動   | ケ | 条例       | コ | 社会活動 |
| サ | 消費活動 | シ | 経済社会   | ス | 幼児期    | セ | 消費者      | ソ | 消費社会 |
| タ | 法令   | チ | 倫理的    | ツ | 常識的    | テ | 生産者      | ト | 福祉   |
| ナ | 情報   | ニ | 消費者保護法 | ヌ | 消費者安全法 | ネ | 消費者教育推進法 |   |      |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
①	ア	キ	エ	ク	シ	ケ	タ	セ	ツ	ニ
②	ス	オ	カ	ク	シ	ナ	ト	テ	チ	ネ
③	ア	オ	カ	コ	ソ	ケ	タ	テ	チ	ネ
④	ス	キ	イ	サ	ソ	ナ	ト	セ	ツ	ヌ
⑤	ウ	オ	イ	ク	エ	ケ	タ	セ	チ	ニ

2 人の一生と家族・家庭に関する次の設問(4)～(6)に答えよ。

(4) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章に示される「仕事と生活の調和が実現した社会の姿」について、(A)～(E)に適する語句の組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

○ 仕事と生活の調和が実現した社会とは、「国民一人ひとりがやりがいや(A)を感じながら働き、仕事上の(B)を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な(C)が選択・実現できる社会」である。

具体的には以下のような社会を目指すべきである。

- 1 就労による(D)が可能な社会
- 2 健康で豊かな生活のための(E)が確保できる社会
- 3 多様な働き方・(C)が選択できる社会

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	充実感	役割	生き方	社会的自立	時間
②	充実感	責任	生活スタイル	経済的自立	生活費
③	充実感	責任	生き方	経済的自立	時間
④	達成感	役割	生活スタイル	社会的自立	時間
⑤	達成感	責任	生き方	経済的自立	生活費

(5) 男女共同参画に関する次の権利、法律、制度について、説明が適切でないものを次の①～⑤の中からすべて選べ。

- ① 性と生殖に関する権利：妊娠や出産などの身体の健康にかかわる事柄について、すべてのカップルや個人の権利を保障し、それぞれの意思を尊重しようとする考え方で、リプロダクティブ・ヘルス/ライツといわれる。
- ② 女性活躍推進法：社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に参画することを目指しすべての男性と女性が、自分の個性と能力を最大限に発揮して、豊かで活気ある社会の実現を図ることを基本方針と定めている。
- ③ 育児休業制度：育児・介護休業法に基づき、仕事と家庭生活を両立させながら、男女が協力して、子どもを育てるための制度である。令和元年12月27日に改正育児・介護休業法施行規則及び改正指針が公布又は告示され、令和3年1月1日から、育児や介護を行う労働者が、子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得することができるようになった。
- ④ 介護休業制度：育児・介護休業法に基づき、要介護状態にある家族の介護のために、休業できる制度である。平成28年3月改正、平成29年1月から、介護が必要な家族1人につき、通算で93日まで、年間で2回までの分割取得が認められるようになった。
- ⑤ 男女雇用機会均等法：平成28年3月に男女雇用機会均等法を改正する法律等が公布され、妊娠・出産等に関するハラスメント防止措置義務が新設され、平成29年1月1日から施行された。

(6) 次のグラフと表は、主要国における女性の年齢階級別労働力率を比較したものである。(A)～(E)に当てはまる国名の組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	日本	韓国	スウェーデン	ドイツ	アメリカ
②	韓国	日本	ドイツ	アメリカ	スウェーデン
③	日本	韓国	ドイツ	スウェーデン	アメリカ
④	韓国	日本	アメリカ	スウェーデン	ドイツ
⑤	日本	韓国	アメリカ	ドイツ	スウェーデン

3 子どもの発達と保育・福祉に関する次の設問（7）～（9）に答えよ。

（7）乳幼児の身体的特徴について、（A）～（F）に適する語句を語群ア～シから選び、その組み合わせが正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- からだの発達は、年齢が進むにつれ起こるが、最初に脳、脊髄などの神経系臓器が発達し、次に感染防御に役立つ（A）が発達する。
- 出生時の体重が1, 500g未満である新生児は（B）と分類される。
- 出生後3～4日間で体重が減少し、生後1週間前後で出生時の体重に戻るが、（C）以内の体重減少であれば正常の範囲内である。
- 新生児期の頭蓋骨は五つの部分に分かれており、比較的骨が接している部分と、離れている部分がある。（D）とよばれる部分は1～2歳の間にはふさがり、その後頭蓋骨はひと続きの骨になる。
- はじめからすべての骨ができているわけではなく、軟骨にリン酸カルシウムが付着し、硬骨へと成長していく。これを（E）という。
- 乳児期早期の胃底部は十分に形成されておらず、（F）の閉鎖が不完全なため哺乳後に乳汁を吐いたり、胃から乳汁が逆流して口から出たりしやすい。

- 【語群】
- |   |        |   |         |   |         |
|---|--------|---|---------|---|---------|
| ア | 大泉門    | イ | 噴門部     | ウ | リンパ系臓器  |
| エ | 化骨     | オ | 小泉門     | カ | 超低出生体重児 |
| キ | 消化器系臓器 | ク | 極低出生体重児 | ケ | 手根骨     |
| コ | 5%     | サ | 10%     | シ | 15%     |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
①	キ	ク	サ	オ	エ	イ
②	キ	カ	コ	ア	ケ	イ
③	ウ	ク	シ	オ	ケ	ア
④	ウ	ク	サ	ア	エ	イ
⑤	ウ	カ	シ	イ	エ	オ

(8) 出産後の母体と乳幼児の食生活について、誤っているものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 母乳を与えることにより子宮の回復が促され、産後の母体の回復を早める。
- ② 母乳は免疫物質を含むため、感染症の発症が少なく、死亡率も低い。
- ③ 乳汁だけでは鉄分やビタミンAが不足するため離乳食が必要となる。
- ④ 幼児期は運動量が増え、からだの大きさとの割合から考えて一日3回の食事に加えて1～2回の間食が必要となる。
- ⑤ 朝食の欠食は、一日の生活リズムの乱れの原因となり、心身の不調につながる。



(9) 子育てに関する法律と条約について、(A)～(E)の説明に適するものを語群ア～ケから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (A) 母性の尊重、乳幼児の健康保持・増進をはかるため、母子健康手帳の交付、保健指導、健康診査、医療などの措置が規定されている。
- (B) 産前6週、産後8週の休業、育児のための就業時間の短縮、妊産婦の深夜労働・時間外労働・休日労働の制限などが定められている。
- (C) 妊娠・母性休暇を理由とする解雇の禁止、親の家庭責任と職業上の責務および社会活動への参加保障・援助・促進などが示されている。
- (D) 女性労働者が母性を尊重されながら、仕事と家庭の調和がはかれるようにすることや性差別の禁止などが定められている。
- (E) すべての国民は、児童が良好な環境において生まれ、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

- 【語群】
- |   |          |   |          |   |           |
|---|----------|---|----------|---|-----------|
| ア | 児童福祉法    | イ | 児童扶養手当法  | ウ | 児童憲章      |
| エ | 労働基準法    | オ | 健康保険法    | カ | 母子保健法     |
| キ | 女子差別撤廃条約 | ク | 配偶者暴力防止法 | ケ | 男女雇用機会均等法 |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	オ	エ	キ	ケ	ウ
②	カ	エ	キ	ケ	ア
③	オ	カ	ケ	キ	イ
④	カ	エ	ケ	キ	ウ
⑤	イ	カ	ケ	ク	ア

高齢者の生活と福祉、共生社会に関する次の設問(10)～(14)に答えよ。

(10) 高齢化の進み方について、次の(A)～(E)に適する数字または語句の組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

日本では、西暦(A)年に65歳以上の人口割合が7%を超え、(B)社会となった。その後、西暦(C)年に65歳以上の人口割合が14%を超え、(D)社会となった。日本において、65歳以上の人口割合が7%から14%に達する期間は非常に短く、フランスと比較すると約(E)倍の速さで高齢化が進んでいる。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	1950	高齢化	1992	超高齢	6
②	1950	高齢	1994	超高齢	9
③	1970	高齢	1980	超高齢	6
④	1970	高齢化	1994	高齢	5
⑤	1975	高齢化	1990	高齢	5

(11) 高齢期について、次の(A)～(E)に適する語句を語群ア～クから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

現代の高齢者は、自立して活動的に年齢を重ね、社会貢献への意識も高い「(A)」の実行者である人が多い。

人間の知能のうち(B)性知能は、加齢とともに低下するが、(C)性知能はあまり低下しないことがわかっている。(C)性知能は、積極的な社会活動が続ける中で、洞察力、調整能力、コミュニケーション能力、他者を理解しアドバイスする力、自己を理解し内省する力といった(D)へと高まっていく。

イメージだけで高齢者をとらえると(E)に結びつく恐れがある。地域の行事やボランティアに参加するなどして、交流する機会を増やし、高齢者を正しく理解する必要がある。

【語群】

ア 結晶      イ 回流      ウ 知恵      エ 理解      オ エイジズム  
 カ 流動      キ アクティブエイジング      ク エンディング

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	キ	イ	カ	エ	ク
②	キ	カ	イ	エ	オ
③	ク	イ	ア	ウ	キ
④	ク	ア	カ	ウ	キ
⑤	キ	カ	ア	ウ	オ

(12) 福祉・介護に関する様々な職種と資格について、次の(A)～(D)の説明に適するものを語群ア～エから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (A) 介護保険サービスの利用計画の策定やそのための関係者の調整をする者。
- (B) 生活上のニーズをもつ人の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、関係者との連絡調整等を行う者。
- (C) 高齢者や障がい者の自宅で介護や家事援助を行う者。
- (D) 要介護者の心身の状況に応じた介護や本人及び家族に対して介護指導を行う者。

【語群】

ア 介護福祉士      イ 訪問介護員      ウ 社会福祉士      エ 介護支援専門員

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	ア	イ	エ	ウ
②	ウ	ア	イ	エ
③	エ	ア	ウ	イ
④	エ	ウ	イ	ア
⑤	イ	ウ	ア	エ

(13) 共生社会に関する次の文の内容について、正しいものを、次の①～⑤の中からすべて選べ。

- ① 共生は、すべての人々が一生を通じて幸福で安定した生活を営むことにつながる福祉であるとして、ポジティブ・ウェルフェアと呼ばれている。
- ② すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支え合う考え方をノーマライゼーションという。
- ③ 環境保護、介護、子育て支援、まちづくり、観光といった多種多様な地域の課題を、住民・NPO・企業などが協力しながら、ビジネスの手法を活用して解決することをソーシャルインクルージョンという。
- ④ リスクや生活の変化が引き起こす事態を想定し、生活の安定と安心をもたらすことを目的につくられるシステムをセーフティネットワークという。
- ⑤ 利益追求を目的としないボランティア活動をはじめとする住民主体の団体をNPOという。

(14) 持続可能な開発目標（SDGs）について、次の①～⑨の中から17の目標にならないものを一つ選べ。

- ① 安全な水とトイレを世界中に
- ② 働きがいも経済成長も
- ③ パートナリーシップで目標を達成しよう
- ④ 気候変動に具体的な対策を
- ⑤ つくる責任 つかう責任
- ⑥ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑦ すべての人に健康と福祉を
- ⑧ 山の豊かさを守ろう
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう

（15）社会環境について、（A）～（E）の説明に適する語句を語群ア～クから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- （A）古紙利用製品の使用拡大を通じて古紙の回収・利用の促進を図るため、古紙を原料に利用した製品であることを容易に識別できる目印。
- （B）見えないCO<sub>2</sub>量を「見える化」するために、共通の「ものさし」として導入された。
- （C）消費者が自らの生活を見直し、購入するモノ・サービスや買い方を変えることで、主体的に社会のしくみを環境に配慮したものに変えていこうとする運動。
- （D）家電製品や照明機器などに、省エネ基準達成率や年間消費電力量などを表示したもの。国の定める目標値をどの程度達成しているかの度合いを（%）で表示したもの。
- （E）途上国が貧困から抜け出せるように、継続的に安心して生産できる商品価格とする「公正な取引」のこと。

- 【語群】
- |   |             |   |             |
|---|-------------|---|-------------|
| ア | カーボンフットプリント | イ | 5 R         |
| ウ | 家電リサイクル法    | エ | 省エネラベル      |
| オ | グリーンマーク     | カ | 食品ロス        |
| キ | フェアトレード     | ク | グリーンコンシューマー |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	オ	ア	ク	エ	キ
②	エ	ア	カ	ウ	ク
③	オ	ア	ク	ウ	キ
④	エ	イ	ク	ウ	キ
⑤	オ	イ	カ	エ	ク



(17) 消費者の契約に関する説明について、下線部の語句が誤っているものを①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 借金返済のため複数の消費者金融等からお金を借りて新たな借金を繰り返すと、借金が雪だるま式に増え、生計が破綻する多重債務となり、返済不能となる。
- ② 自己破産は自分の財産を失う代わりに借金をなかったことにする制度。一定の要件を満たした場合に認められるが、社会的信用を失うため、債務者が裁判所に破産の宣告を申し立てる、債務整理の最終手段。免責申し立てをして、免責が決定すれば借金を免除される。
- ③ 弁護士を介して貸金業者などと話し合い、借金の減額などの交渉を行うことを個人再生手続きという。
- ④ 販売信用（クレジット）や消費者金融（ローン、消費者ローン、サラリーマン金融）は、いずれも個人の信用を担保にお金を借りることから消費者信用と呼ばれている。
- ⑤ 消費者契約法は、契約全般について、適正な環境のもとで行われなかった契約は一定要件のもとで消費者が契約を取り消せること、消費者に不当な契約内容は無効とすることと定めている。



食生活に関する次の設問（18）～（22）に答えよ。

（18）（A）～（E）の状態が続いた時にあらわれる症状について、語群ア～キから選び、その組み合わせが正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

- （A）野菜、果物、いも類の摂取が不足したとき。
- （B）乳製品、海藻、小魚などの摂取が不足したとき。
- （C）食塩、味噌、しょうゆなどを摂りすぎたとき。
- （D）レバー、ひじき、ほうれん草などの摂取が不足したとき。
- （E）脂肪酸を多く含む肉類や乳製品などを摂りすぎたとき。

- 【語群】
- ア 骨や歯が弱くなり、骨粗しょう症などになりやすい。
  - イ 動脈硬化や心筋梗塞の危険性が高まる。
  - ウ 感染症にかかりやすく、壊血病になりやすい。
  - エ 高血圧や脳卒中になりやすい。
  - オ 皮膚が荒れ角質化してくる。目の暗順応機能が低下する。
  - カ 口腔内や舌の粘膜の炎症をおこしやすい。
  - キ 鉄欠乏性貧血になりやすい。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ウ	ア	イ	キ	エ
②	カ	オ	エ	ウ	イ
③	カ	ア	イ	ウ	エ
④	ウ	オ	イ	キ	エ
⑤	ウ	ア	エ	キ	イ

(19) 食品の性質について (A) ~ (E) の説明が適切であれば○を、適切でなければ×をつけ、その組み合わせが正しいものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。

- (A) 小麦粉はたんぱく質の含有量によって種類が異なる。最も含有量が多い強力粉は主にパンやパスタなどに使用される。
- (B) やまいもやじゃがいもは、切ると空気に触れた切り口がかっ変する。これは、いもに含まれる酸化酵素のポリフェノール物質が作用するためである。切り口を食塩水に浸漬すると作用を止めることができる。
- (C) 黒大豆の色はアントシアン系の色素なので、焼きみょうばんや鉄くぎなどを入れて煮ると美しい色に仕上がる。
- (D) くだもの切り口や、果汁をそのまま放置するとかっ変する。これはくだものに含まれるチロシナーゼが酵素作用によって変化するためである。食塩水につけたり、レモン汁を加えたりしてかっ変を遅らせることができる。
- (E) 卵黄の脂質に含まれるグロブリンは乳化性がある。この特徴を利用してマヨネーズを作ることができる。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	×	○	○	×
②	○	○	×	×	○
③	×	×	○	○	×
④	○	×	○	×	×
⑤	×	○	×	×	○

(20) 栄養の機能について (A) ~ (E) に適する語句を語群ア~コから選び、その組み合わせが正しいものを次の①~⑤の中から一つ選べ。

- 炭水化物のうち (A) は、人の体内でほとんど消化されないが、コレステロール値の上昇を抑制し、便秘を予防する。
- アミノ酸含有量の低い食品は、アミノ酸を含む食品と組み合わせて食べることにより、食事全体のアミノ酸スコアを高めることができる。これをたんぱく質の (B) という。
- 魚介類の主成分はたんぱく質で、魚類・えびには約 20% 含まれる。脂質は (C) 脂肪酸を多く含み動脈硬化や心筋梗塞などの予防に効果があるといわれる。
- (D) は果実に多く含まれる多糖類で、酸と糖と一緒に加熱するとゼリー状になる。
- リンが多いとカルシウムの吸収率は低下するが、牛乳はカルシウムとリンの比率が 1 : (E) のためカルシウムの吸収率がよい。

【語群】	ア	グルテン	イ	ペクチン	ウ	食物繊維
	エ	ぶどう糖	オ	不飽和	カ	飽和
	キ	補足効果	ク	1	ケ	2
	コ	第一制限アミノ酸				

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ウ	コ	カ	ア	ク
②	ウ	キ	オ	イ	ク
③	ウ	コ	オ	ア	ケ
④	エ	キ	オ	イ	ク
⑤	エ	キ	カ	イ	ケ

(21) 食中毒について、次の表中の種類と原因となるものの正しい組み合わせを次の①～⑤の中から一つ選べ。

	種 類	原因となるもの	
①	細菌性食中毒（感染型）	サルモネラ属菌	カンピロバクター
②	細菌性食中毒（毒素型）	黄色ブドウ球菌	病原性大腸菌
③	ウイルス性食中毒	ボツリヌス菌	ノロウイルス
④	自然毒による食中毒	テトロドトキシン	腸炎ビブリオ
⑤	化学物質による食中毒	ソラニン	カドミウム

(22) 調理用語について、(A)～(E)に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(A) 寒天やゼラチンなどを使って液体を固めること。

(B) きゅうりなどに塩をまぶして、まな板の上で前後に軽く押さえながら転がすこと。

(C) 余分な油を抜くため、熱湯をかけて表面の油をとること。

(D) 魚を塩焼きにするとき、焼き上がりを美しく見せるために尾やひれに振る塩のこと。

(E) 煮くずれを防ぐため、野菜の切り口の角を薄くそぎ切ること。

【語群】 ア しめる            イ 面取り            ウ 寄せもの            エ 立て塩  
 オ 板ずり            カ ねかす            キ 化粧塩            ク 油抜き  
 ケ かくし包丁        コ 湯切り

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	カ	オ	コ	エ	イ
②	カ	ア	ク	キ	イ
③	ウ	オ	ク	エ	ケ
④	ウ	オ	ク	キ	イ
⑤	ウ	ア	コ	キ	ケ

7 衣生活に関する次の設問（23）～（27）に答えよ。

（23）折りしろの始末について、次の（A）～（E）に適する図をア～カから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- （A）奥まつり
- （B）玉縁
- （C）三つ折り縫い
- （D）縦まつり
- （E）千鳥がけ

Kyosai-guild

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	オ	イ	カ	エ	ア
②	オ	ア	イ	カ	ウ
③	カ	ア	オ	エ	イ
④	ア	イ	カ	エ	ウ
⑤	ア	ウ	イ	カ	エ

(24) 成人女子のそで原型(文化式)について、次の(a)～(e)に適する数字及び語句を語群ア～シから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【語群】

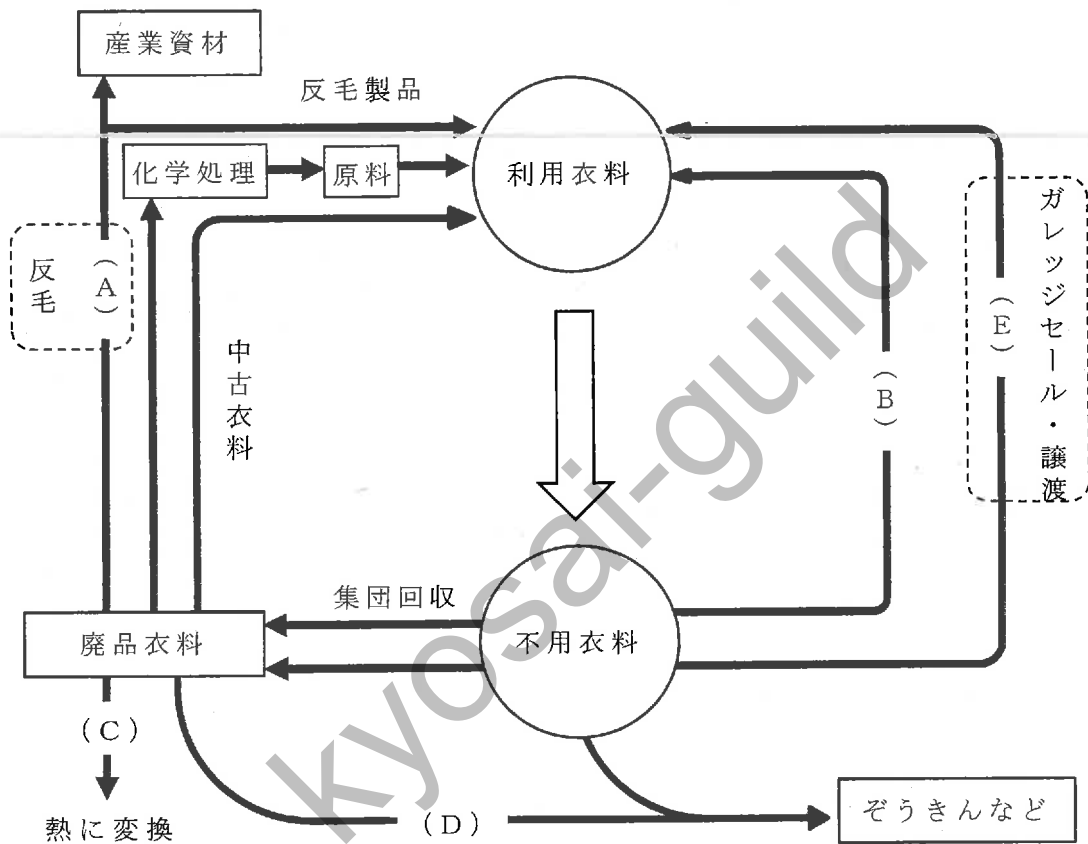
ア 前AH      イ 後ろAH      ウ そで丈      エ EL      オ BL  
 カ AH      キ WL      ク HL      ケ そで丈/2  
 コ AH/4      サ AH/2      シ そで丈/4

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
①	イ	ア	コ	ウ	カ
②	ア	カ	サ	コ	キ
③	ア	イ	オ	ケ	カ
④	カ	ア	エ	シ	ク
⑤	イ	ア	コ	ケ	エ

(25) 被服材料の特徴について、適切であるものを次の①～⑤の中からすべて選べ。

- ① 繊維は天然繊維と半天然繊維に分けられ、更に半天然繊維は再生繊維、半合成繊維、合成繊維に分けられる。
- ② 布や糸を作る工程では、積層や接着する不織布や、長繊維や短繊維のようによりをかけて紡績糸にする糸などがある。
- ③ 合成繊維は、天然のセルロースに化学薬品などを作用させ、繊維にしたものである。繊維の特徴は吸湿性がある。
- ④ 再生繊維は、天然のセルロースを利用して繊維を作る。肌触りがよく、吸湿性が大きく、特にキュプラは光沢がありしなやかな特徴である。
- ⑤ 植物繊維である綿や麻は、しわになりやすく、乾きにくい。生地は強く伸びは小さい。特に綿は、肌着・外衣・寝具・タオル・浴衣など用途が様々である。

(26) 衣料の循環について、次の表の(A)～(E)に適する語句を語群ア～カから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。













【語群】

ア ウェス    イ リデュース    ウ リフォーム    エ リユース  
 オ サーマルリサイクル    カ マテリアルリサイクル

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	カ	ウ	オ	ア	エ
②	ウ	カ	オ	イ	エ
③	ウ	オ	カ	エ	イ
④	オ	カ	ウ	ア	エ
⑤	オ	ウ	カ	イ	エ



(27) 家庭用品品質表示法に基づく衣類等の洗濯表示（取扱い表示）について、表示①～⑩の説明が正しいものをすべて選べ。

- ①  : 液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる。
- ②  : 液温は 30℃を限度とし、手洗いができる。
- ③  : 底面温度は 200℃を限度としてアイロン仕上げができる。
- ④  : 塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白処理ができる。
- ⑤  : 日陰のぬれつき干しがよい。
- ⑥  : ドライクリーニングができる。
- ⑦  : ウェットクリーニング禁止。
- ⑧  : 平干しがよい。
- ⑨  : ウェットクリーニングができる。
- ⑩  : パークロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができる。

注意 取扱い表示の記号と意味 (JIS L0001) 平成 28 年 12 月 1 日以降

住生活に関する次の設問（28）～（30）に答えよ。

（28）健康な住生活について、次の（A）～（E）に適する語句を語群ア～コから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- 太陽光は明るさや熱を与え、適度な紫外線は（A）作用もあるため、室内の湿気除去や家族の健康のために不可欠である。
- 生活騒音の感じ方は個人差があるが、床の衝撃音を防ぐには厚手の防音材や（B）などを用いるとよい。
- 新築の建物では、建材家具の接着剤などに含まれる有機化合物によって室内環境が汚染され、体調不良を引き起こすことがある。これを（C）症候群という。
- 室内の汚染された空気と新鮮な外気を入れ替えるために、通風と（D）をすることが大切である。
- 冬季に水蒸気を含んだ暖かい空気が、冷たいガラス面や吸収性の少ない壁面にふれると（E）しやすくなる。

- 【語群】
- |   |        |   |    |   |       |
|---|--------|---|----|---|-------|
| ア | シックハウス | イ | 換気 | ウ | 殺菌    |
| エ | 結露     | オ | 防音 | カ | じゅうたん |
| キ | 気密     | ク | 凍結 | ケ | 防臭剤   |
| コ | ホームシック |   |    |   |       |

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	ウ	カ	ア	イ	エ
②	ウ	ケ	ア	イ	ク
③	ウ	ケ	コ	イ	エ
④	キ	ケ	ア	オ	ク
⑤	キ	カ	コ	オ	エ

(29) 世界各地の住居の特徴について、(A)～(E)に適する語句を語群ア～ケから選び、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- 韓国の(A)は、冬の厳しい寒さを乗り越えるため、練炭などを燃やした煙や湯を床下に通し、部屋を暖める暖房設備である。現在は、温水式床暖房が主流となっている。
- タイなどの高温・多湿の地域では、暑さや湿気をしのぐため、風通しの良い(B)の住まいが建てられている。地面の湿気を避け、獣や虫を防ぐのに効果的で、床から涼しい風が屋内に入ってくる。
- モンゴル草原の遊牧民たちは、草を求めて家畜と共に移動するので、折りたたんで運べる移動可能な組み立て住宅の(C)で暮らしている。
- サハラ砂漠地帯にすむベルベル族の住まいは、日干しした(D)を積み上げてつくられている。
- 極寒の地域で生活しているイヌイットの住居は(E)と呼ばれている。地下、または半地下にして保温性を高め、氷や雪をレンガ状にして積み上げて建築の材料にしている。

【語群】   ア   ヤオトン           イ   オンドル                           ウ   カスバ  
               エ   タンチュエタ           オ   レンガ                               カ   ゲル  
               キ   高床式                   ク   ホーガン                           ケ   イグルー

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	イ	キ	カ	ク	ケ
②	エ	ア	オ	ク	ケ
③	イ	キ	カ	オ	ケ
④	イ	ア	カ	オ	ウ
⑤	エ	キ	オ	ク	ウ

(30) これからの住まいについて、(A)～(E)の説明が適切であれば○を、適切でなければ×をつけ、その組み合わせが正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (A) 血縁や婚姻などによる関係性のないもの同士が、自分の部屋とは別に、共同利用できるスペースをもった賃貸住宅のことをシルバーハウスという。
- (B) スマートハウスは、ITの活用により家庭内のエネルギー消費が快適に制御された住宅のこと。家庭内のエネルギーの管理システムにより、リアルタイムで消費量、料金などを「見える化」することで節電への意識を高める効果がある。
- (C) リノベーションは、日本の民家の良さを再確認し、現代の生活に合うように間取りや内装、配管などを住む人たちの暮らしに合わせて作り替えることで新しい価値観を生み出す。
- (D) 少子・高齢化や核家族化が進む中、ペットと住むことを望む人が増えてきたことに対応する、集合住宅のことをビオトープという。
- (E) 比較的元気な数名の高齢者が、家庭的な雰囲気の中で、一日を通して食事と団らんを行う居住空間をグループハウスという。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	×	○	×	○
②	○	○	×	○	○
③	×	○	○	×	×
④	×	×	×	○	×
⑤	×	○	○	×	○

kyosai-guild

---

kyosai-guild

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験  
第1次選考試験 高等学校 家庭

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	1・4	5	2	3	2・4	5	4	3	2	4

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	5	4	1・4・5	8	1	5	3	5	4	2

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	1	4	2	5	2・4・5	1	3・5・ 9・0	1	3	5

---

kyosai-guild